

2024 年日本切手発行状況

2024 年は表 1 のように郵便料金改定で普通切手 2 件 12 種の発行を含め 32 件、294 種が発行された。購入必要金額は 27328 円となり、件数、種類、必要金額ともに図 1 のように 2007 年の数値まで少なくなっており、今後も少なくなっていくか期待される。特殊切手の発行枚数は約 7 億枚。これで日本切手は 2816 件、12228 種になるか。

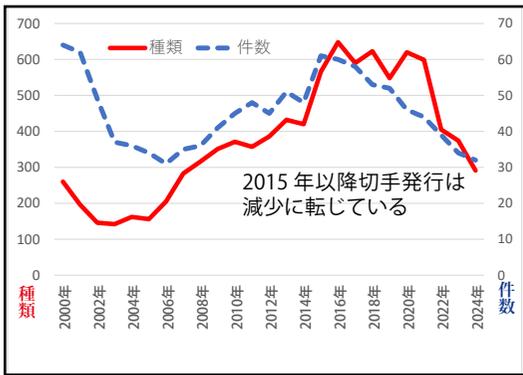


図 1 2000 年以降の切手発行件数、種類の推移

◎記念切手の減少

2023 年に 3 件と過去 2 番目に少ない発行になった記念切手、今年も 3 件と少なく、外交関係事項と国家的事項の記念でしか切手が発行されなくなってしまったのか。1990 年代の如く、各種国際会議、各種学会大会、スポーツ大会、社会インフラ関係事項等での発行は見られなくなった。ネット環境の拡大充実、各種メディアの発展等に加えて郵便利用の減少もあり、1900 年代までに記念切手に期待された役割は失われたのかとも考える。これは新聞、放送媒体に紹介されることも少なく、時にフレーム切手の方が話題になっていることから感じる。記念切手は外交儀礼、内政事項の確認の一方法とでも言えるものに変化しつつあるのではと考えることもなる。記念切手の存在が危ういのは 2024 年切手の件数だけでなく、種類、発行枚数割合の図 2 から明らか、特に発行枚数はど

表 1 2024 年切手発行一覧

	発行目的	通称	切離	種類	発行数
1	グリーティング	G. 切手「ミッフィー」	シール	10	3000
2	グリーティング	春の G.	シール	10	3900
3	グリーティング	G. (シンプル)	シール	3	6400
4	グリーティング	ハッピー G.	シール	15	5400
5	グリーティング	夏の G.	シール	10	4500
6	グリーティング	G. 切手「ボスクマ」	シール	20	2600
7	グリーティング	秋の G.	シール	10	3100
8	グリーティング	冬の G.	シール	10	4000
9	グリーティング	秋の G. (ライフ・花)	シール	10	8200
10	グリーティング	G. 切手「サンリオ」	シール	10	2500
11	シリーズ切手	自然の記録 S. 第 4 集	シール	10	2000
12	シリーズ切手	My 旅切手 S. 第 9 集	シール	20	2400
13	シリーズ切手	未来に残したい文化 S. 第 1 集	シール	10	2000
14	シリーズ切手	花の彩り S. 第 2 集	シール	10	4200
15	シリーズ切手	海のいきもの S. 第 8 集	シール	10	230
16	シリーズ切手	花の彩り S. 第 3 集	シール	10	2550
17	シリーズ切手	絵本の世界 S. 第 8 集	シール	10	2500
18	シリーズ切手	未来に残したい文化 S. 第 2 集	シール	10	2000
19	記念切手	銀行券 3 券種の刷新	シール	10	400
20	記念切手	トルコ外交関係樹立 100 年	シール	10	500
21	記念切手	UPU 創設 150 年	シール	6	500
22	年賀切手	年賀切手令和 6 年用	シール	2	10
23	年賀切手	年賀切手令和 6 年用	シール+目打	4	1590
24	普通切手	新料金対応	目打	9	
25	普通切手	慶弔用切手	目打	3	
26	毎年発行	切手趣味週間	目打	4	400
27	毎年発行	国土緑化	目打	10	400
28	毎年発行	ふみの日	シール	20	2500
29	毎年発行	国民スポーツ大会	シール	10	400
30	毎年発行	国際文通週間	目打	3	540
31	寄付金付	関西万博	シール	2	400
32	不明	切手趣味への招待	シール	3	7.5

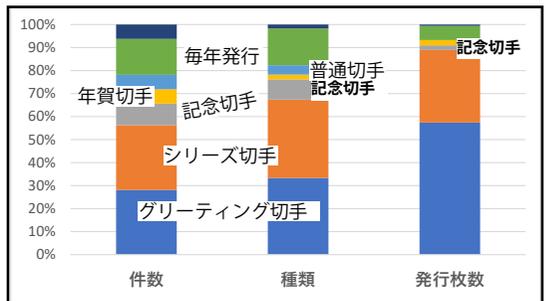


図 2 2024 年切手種類別発行割合

のように決められているか考えてしまう。

◎目打切手は絶滅危惧か？

これまで戦前の行幸行事に準じた扱いで目打ちで生きながらえていたと考えてきた国土緑化切手、国体切手のうち国体 (国民スポーツ大会) 切手がシール切手となってしまった。これで国土緑化切手がシール切手になる



初の国体(国民スポーツ大会)シール切手
且つ、初の変形切手

のは確実な感じである。残るは切手趣味関連の切手趣味週間、国際文通週間切手であるが、最後まで目打切手として残るのは皇室関連切手になるのではと考える。

昨年から年賀切手の一部がシール切手になったことから普通切手がシール切手になることを期待し、料金変更を機に一部でも利用者の便を考慮して発行されると考えたが発行されなかった。特殊切手のシール化を進めるより普通切手のシール化を図るべきであろう。

◎文通週間切手を外国郵便料金表に照らすと

2023年までの約80年間平均毎年3種類の切手を発行してきたが昨年1種だけの発行になり心配した国際文通週間切手が今年は3種類に戻って発行された。しかし、内容を見ると理解できない点がある。今回の3種では基本的な書状に使用できない地域がある。第3, 4地帯のアメリカ、ヨーロッパ等の利用される量の最も多いと考える地帯に使用できる140円切手が発行されていないことである。普通切手140円を使用することを求めているならば片手落ちではないか。国際



2024年国際文通週間切手3種



書状定型 25 g

地帯	第1地帯	第2地帯	第3地帯	第4地帯	第5地帯
地域	中国、韓国 台湾	アジア	ヨーロッパ、カナダ 中近東、オセアニア	アメリカ	中南米、アフリカ
料金	120円		140円		160円

はがき

世界各国あて 100円均一

船便 書状 25 g

全世界 120円



北アメリカ、ヨーロッパには普通切手の利用強いることになってしまっている。



上の形で利用されるニードがどれだけあるのか

文通週間の目的に反した発行であろう。

もう1点、昨年も指摘したが官製はがき(年賀も含む)の海外発送のための不足額(100円-85円)の15円切手の発行の必要性である。上記右図のように15円切手を貼って使用する数より、絵葉書等の私製はがきに100円切手1枚を貼るニードの方が外国人観光客も含め高いと考えるが如何なものか。しかし、発行枚数が書状用切手の2.5倍の300万枚という数値をみると実情を知らない考えかと不安を感じるが・・・。

加えて、文通週間を離れ普段の外国郵便を考えた時、逆に1枚の切手を貼るだけで投函できるのは現在の郵便会社のHPの普通切手一覧では書状用の140円のみということになってしまっている。外国郵便を簡便に楽しく利用できる日本らしい切手の定期的発行を希望したい。

◎新記念切手で日本切手の質の低下を痛感

新日本銀行券発行という初めての記念切手が10種発行された。その中に3種の人物切手がある。この切手を見て日本切手に不安を感じざるを得ない。人物切手は300種程度発行されているが、特定個人の顔をおきく切手にしているの少なく文化人切手を中心に約60種程度か。さらに銀行券と切手の双方



日本銀行券刷新記念人物切手3種と
銀行券の顔部分をのせた切手もどき
銀行券から顔部分を取り出すことは制度上不可
能。解像度低い画像から切り取り利用したがそれ
でも深みのある切手になっている。



になっているのは戦前も含めて12名が凹版で銀行券に、凹版+グラビア等で切手になっており多くが芸術品と言いたくなる切手である。それが今回の3種の切手はオフセットとはいえガツカリするものである。上に3種の人物切手に解像度は低いが銀行券の顔部分をのせた切手もどきを作成した。

過去の文化人切手の野口英世、夏目漱石切



1950年代文化人切手にその後の銀行券の人物をのせてみた。

右切手人物像を左右逆転 2003年発行文化人切手手にその後発券された銀行券の顔部分を貼り付けて比較した。銀行券を印刷していた印刷局の銀行券と遜色ない切手なのが明らかである。今回の人物切手はtoppan edge incでオフセットで印刷されているが、気になるのが2003年印刷局でグラビア+凹版で発行された文化人切手北里柴三郎切手ある。人物は凹版で印刷され深みのある切手である。この人物の左右を逆転して今回の切手にのせるとはるかに良い切手になった。非常に高精度の印刷物を記念して印刷物を作成するということに無理があったと考えたい。今後の人物切手、ぜひ文化人切手のレベルの切手であることを希望したい。

◎その他、目についたこと。

印刷は海外で30%印刷され、多くの実績あるCartor社が1件のみとなりToppanが全体の60%を占めていた。切手の発行の70%が水曜日に集中している。